

海外自治体幹部交流協力セミナー2023（パリ事務所管内） 事業概要

1 テーマ

- ①地域とつながる高齢者の居場所づくり
- ②「ジャパンレッド」発祥の地を世界へ発信～観光交流人口の拡大を目指して～

2 海外参加者数：4名

Jean-Philippe Joseph André RENOUD (Mr.) (ルヌー ジャンフィリップ・ジョセフ・アンドレ)
Communauté de Communes LE GRESIVAUDAN ル・グレスィヴォーダンコミューン共同体 Chargé de missions au Secrétariat Général 事務総長
Colette LAUTRÉDOU (Ms.) (コレット ロトレドゥ)
Mairie de PLOMEUR プロムール市 Directrice Générale des Services 事務総長
Vincent André Gilbert REY (Mr.) (レー ヴァンセン・アンドレ・ジルベール)
Morieres Les Avignon モリエール・レザビニョン市 Directeur General Des Services 事務総長
Stéphanie Marie-Catherine MAURIZI (Ms.) (マウリジ ステファニー・マリー・カトリーヌ)
Communauté d' Agglomération du Pays Ajaccien (2A) アジャクシオ都市圏コミュニティ Directrice de l' aménagement 都市整備部長（開発担当部長）

3 日程〔2023年11月19日（日）～25日（土）〕

月日	予定	宿泊地
11/19（日）	来日、オリエンテーション	東京都
11/20（月）	<東京セミナー> 地方自治講義、総務省訪問、クレア主催歓迎夕食会	東京都
11/21（火）	<高梁市へ移動、地方交流事業> 表敬訪問、高梁市概況説明、高梁市主催歓迎レセプション	高梁市
11/22（水）	<地方交流事業> 視察、意見交換会（福祉）、帰国前夕食会	高梁市
11/23（木）	<地方交流事業、東京へ移動> 視察、意見交換会（観光）	東京都
11/24（金）	<東京セミナー> 国会議事堂（参議院）視察、東京都庁視察・意見交換	東京都
11/25（土）	帰国	

4 実施内容

《東京セミナー：11月20日（月）》

（1）日本の地方自治に関する講義（明治大学教授 木村俊介）

午前中は明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、木村俊介教授による日本の地方自治に関する講義を受講。日本の地方自治制度に関する包括的な説明が行われた。この講義は、日本の地方自治体の役割と、国の政治・経済システムへの関わりなど、日本の社会基盤に対する理解を深めた。参加者からは地方自治制度に関する日仏の類似点が多いことに関心が寄せられ、人口減少に伴う今後の地方自治体の歳入減少についての見通しと、その対策などについて質疑応答がなされた



（2）総務省訪問

午後は総務省を訪問、地方自治体で介護福祉分野に携わった出向経験者から、日本の高齢者福祉制度に焦点を当て、介護保険制度の枠組み、地方自治体の役割、高齢者へのサービス提供システムなどについて説明がされ、意見交換を行った。後に高梁市を訪れた際、ここで学んだ日本の高齢者福祉制度の知識は実務の現場を理解する上で貴重な機会となった。



（3）CLAIR 主催歓迎夕食会

CLAIR が主催する歓迎夕食会を開催し、参加者4名のほか、クレアから常務理事、クレアパリ事務所赴任予定者等が参加した。参加者の出身自治体やセミナーテーマなどに関し、忌憚のない意見交換を行い、親睦を深める良い機会となった。



《岡山県高梁市セミナー：11月21日（火）～11月23日（木）》

（1）高梁市長表敬訪問

高梁市では、到着時にトリコロールによる歓迎を受けた。

市長表敬訪問では、^{こんどう たかのり}近藤 隆則市長自ら同市の概況について、現状、課題、今後の見通しや取組みについて説明がなされた。

参加者らは高梁市からの手厚いおもてなしに温かい印象を持ち、市長との直接のコミュニケーションは高梁市への理解を深めるだけでなく、参加者の間に深い印象を与えた。



（２）備中松山城訪問

市長表敬のあとは備中松山城を訪問。この城は日本で唯一現存する山城の天守として知られ、その壮大な景色と歴史的価値で観光客を魅了している。この天守は過去に地域一体となって、地元の人々の手によって丁寧に修復され、今ではその美しさを訪れる人々に披露している。

参加者たちはその保存状態の良さと、地域の歴史資源を活用した取り組みを高く評価していた。訪問中には地元メディアからの取材も受け、この訪問の意義をより広く共有する機会となった。訪問時、“城主”である「さんじゅーろー」が出迎えてくれた。



（３）高梁市主催歓迎夕食会

「花のれん」での歓迎夕食会では、地域の子どもたちが国の重要無形民俗文化財である備中(びっちゅう)神楽(かぐら)を披露し、参加者はその迫力と歴史的・文化的背景に魅了された。歓談では近藤市長を含む市職員と参加者との間で、多岐にわたる質問が寄せられ、高梁市の取り組みに対する関心の高さが伺えた。



（４）雲海展望台の視察

高梁市では、9月下旬～4月上旬にかけて雲海が発生しやすくなるため、気象条件が合えば備中松山城が雲海に包まれる姿を見られることがある。今回は備中松山城は見えなかったが、美しい雲海を参加者は楽しんでいった。



（５）有漢（うかん）生涯学習センターでの講義

一つ目のテーマ「地域とつながる高齢者の居場所づくり」に関して講義が行われました。ここでは高梁市の高齢者数と高齢化率の推移、要介護（要支援）認定者（率）数の現状についてまず説明がなされ、地域における高齢者のための新しい居場所づくりの一例として「うかん気楽会」（次項記載）の取組みを紹介した。講義において、高齢者の居場所づくりにおいて重要なのは、高齢者一人ひとりの「できるだけ要介護状態にならずに、人生を終えたい＝ピンピンコロリ」という願いを実現することであり、１．自分の健康状態を知る ２．定期的に運動する。 ３．栄養バランスの良い食事をする ４．社会活動に参加して、人と話をする機会を増やす、これらを地域で取組む重要性を説明した。



（６）「うかん気楽会」による住民主体の通所サービス視察、質疑応答・意見交換会

うかん気楽会は、2023年3月29日に総合事業の枠組み内で開設された通所サービスであり、住民主体による運営が特徴。このプロジェクトは、通所ボランティア「きらり」が中心となり、地域の高齢者が社会とつながりながら健康を維持し、より良い生活を送ることを目的としている。

サービスの内容としては、朝10時に「slow space みちくさ」に集まり、予防体操等を行うことで、ロコモティブシンドロームの予防を目指している。また、自力での参加が難しい人々のために、通所付添サポートを提供しており、参加者らは実際に高齢者と一緒にサービスを体験した。

最後に高梁市の担当者と質疑応答・意見交換が行われ、参加者からは「ボランティア活動への参加促進と支援体制の強化」、「介護予防活動への支援とその効果に関する評価」、「ボランティア活動への参加促進と支援体制の強化」等について意見がなされた。



（８）頼久寺（らいきゅうじ）

頼久寺を訪れた際、国指定名勝である小堀遠州（こぼりえんしゅう）作の枯山水庭園を堪能。その美しさに触れ、歴史と自然の調和を感じた。



（９）高梁市歴史美術館 特別展「石村嘉成（いしむら よしなり）展」

訪問の際、高梁市歴史美術館にて愛媛県新居浜市出身の画家である石村嘉成の特別展が開かれていた。自閉症と向き合いながら色彩豊かな動物の絵を描く石村氏の作品に、参加者らは芸術を通じて障害の枠を超えたコミュニケーションができることに感銘を受けていた。



（１０）帰国前夕食会

高梁市内の飲食店にて帰国前夕食会を開催した。セミナーを担当した職員らと、お互いの文化や地域について紹介しあうなど、懇親的な交流機会の場となった。



(11) 吹屋（ふきや）地区視察

二つ目のセミナーテーマ、「ジャパンレッド」発祥の地を世界へ発信～観光交流人口の拡大を目指して～について、まずは高梁市内の吹屋地区を訪れた。

吹屋地区は黄土からとれる顔料であるベンガラ生産やその原料であるローハで栄えた地区であり、赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一された赤い町並みが印象的である。旧吹屋小学校や銅山跡の笹畝坑道などの観光施設も点在し、繁栄の歴史を感じることができるほか、

「ジャパンレッド発祥の地」として文化庁の日本遺産に選定されている。ベンガラという顔料がどのようにして吹屋地区の人々の生活と経済に貢献し、また今日においてどのようにしてその遺産が観光資源として活用されているのかを学び、その地域固有の文化と歴史に対して理解を深めた。



(12) 質疑応答・意見交換

最後に高梁市担当者及び地域ボランティアの方との質疑応答・意見交換が行われ、「観光振興のための戦略」「ベンガラ文化の継承と教育」「地域経済への波及やその検証方法」「認知度の向上」等について意見交換がなされた。



高梁市での地方セミナーは市役所の担当者や地域住民による多大な協力を得て、参加者からの積極的な質問や議論が交わされるなど充実した内容で、参加者全員から高い評価を受ける形で終了した。

《東京セミナー：11月24日（木）》

（13）国会議事堂視察

国会議事堂を視察し、議事堂の建築様式と歴史的背景および日本の政治システムについて学んだ。



（14）東京都庁視察・意見交換

セミナーの最後には東京都庁を訪れ、都庁内各所を廻り、次に東京オリンピック・パラリンピックについて説明を受け、最後に都議会を訪れた。参加者らはフランス地方自治体の幹部であるほか、地方議員経験者がいたため、日本の地方議会のシステムや議員選出について特に関心が高く、東京都庁の職員と熱心に議論を交わしながら自国との比較を行い、違いや類似点を学んでいた。



以上